

誰もが住みたくくなるような未来の武豊を考えよう！

武豊町まちづくり会議 ニュース

みなさんこんにちは！ 寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？

武豊町では、新しい総合計画の策定に向け、住民の皆さんと一緒に、これから10年間のまちづくりを話し合い、考える『まちづくり会議』を開催しています。

さる1月18日(土)に武豊町役場2階第2～4会議室にて第3回まちづくり会議～分野別のまちづくりの取組みアイデアを考えよう！その2～を開催しました。



第3回 まちづくり会議「分野別のまちづくりの取組みアイデアを考えよう！その2」を開催

■日時：令和2年1月18日(土曜日) 10:00～12:00

■会場：武豊町役場 2階 第2～4会議室

■参加者：26名

■プログラム：



- | | | |
|-------|-------------|--------------------------------------|
| 10:00 | ① 開会 | ・本日のプログラムの説明 |
| 10:05 | ② 前回の振り返り | ・第2回まちづくり会議の振り返り |
| 10:15 | ③ 4つの分野の紹介 | ・「学び」「健康・福祉」「産業・交流」「まちづくり・地域経営」の分野紹介 |
| 10:30 | ④ グループワーク 1 | ～こんな取組みをしていこう！ |
| 11:00 | ⑤ グループワーク 2 | ～メンバーを変えて検討！ |
| 11:25 | ⑥ グループワーク 3 | ～重点内容の検討 |
| 11:45 | ⑦ 発表 | |
| 11:55 | ⑧ まとめ | |

① 開会

最初に、町企画政策課より、本日の2時間のプログラムについて説明を行いました。

② 前回の振り返り

町企画政策課より、「武豊町まちづくり会議 ニュース 第2号」を使って、第2回まちづくりの内容やその時意見として出された4つのテーマでの重要な取組み内容などについて概略を説明しました。

③ 4つの分野の紹介

ここからは一般社団法人地域問題研究所のスタッフに進行をバトンタッチしました。

現在、策定作業を進めている新しい総合計画では、「分野1.都市環境」「分野2.子ども子育て」「分野3.学び」「分野4.健康・福祉」「分野5.安全・安心」「分野6.産業・交流」「分野7.環境」「分野8.まちづくり・地域経営」の8つの分野に分けて分野別計画をつくることを検討しており、今回は前回の

4つのテーマ以外の残り4分野として、「学び」、「健康・福祉」「産業・交流」「まちづくり・地域経営」の分野を検討していくことを説明しました。

「学び」では学校教育や生涯学習、スポーツに関わる課題とその解決に向けた取組みアイデアを、「健康・福祉」では健康づくり、高齢者福祉、障がい者福祉などを、「産業・交流」では農業、商業、工業、観光、雇用などを、「まちづくり・地域経営」では、地域活動、多文化共生、タウンプロモーションなどを検討していくことを紹介しました。

①学び

・学校教育、生涯学習、スポーツ、文化芸術など

②健康・福祉

・健康、医療、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉など

③産業・交流

・農業、商業、工業、観光・交流、雇用など

④まちづくり・地域経営

・住民活動、地域活動、多文化共生、男女共同参画、タウンプロモーションなど

④ グループワーク 1 ～こんな取組をしていこう①～

4つのグループに参加者が分かれ、まず、それぞれのテーマにおいて関心のあること、課題になっていることをイメージしていただきながら、課題解決に向けて取り組んでいくべきアイデアを考えていただきました。

⑤ グループワーク 2 ～こんな取組をしていこう②～

各分野のメンバーは、別のテーマのグループへ移動する席替えを行いました。

まずは、新たなメンバーに、これまでのメンバーで話し合ってきたことを紹介し、それを踏まえて新たな追加の意見、取組アイデアを考えていただきました。

⑥ グループワーク 3 ～重点内容の検討～

参加者は最初の分野のグループに戻り、追加されたアイデアなどを確認しながら、重点的に取り組んでいくべき取組内容を選んでいただきました。

学び

- ◆地域連携教育（SDGs、多文化教育）の実施
- ◆PC・IT教育、リテラシー教育の実施
- ◆愛町心を育む地域の歴史を学ぶ「愛まち教育」の実施
- ◆IT・プログラミング教室の開催
- ◆世代間交流による学習活動の実施
- ◆3X3、ボルダリング、スケートボードなどの若者向けスポーツの推進（場所の設置）
- ◆高齢者向けの多様なスポーツの推進
- ◆インクルーシブの視点を入れた文化芸術の企画づくり
- ◆非日常的な文化芸術に触れられる機会づくり
- ◆まちづくり子ども会議の実施（主権者教育など）

健康・福祉

- ◆高齢者の働き場、若者の福祉体験や学びの場を通じた介護士、ヘルパーなどの福祉人材の確保・育成
- ◆公民館での夕食会など、地域で支え合えるための顔の見える関係づくり
- ◆やること付き高齢者住宅の整備
- ◆若い世代から健診・健康相談を受ける習慣化のための仕組みづくり
- ◆高齢者と若者が一緒に福祉・介護の基礎的な知識を学ぶ
- ◆気軽に相談できる場・雰囲気づくり（地域の人が気にかけて、声をかけることから始める）



産業・交流

- ◆地産地消を推進する新たな店舗（飲食店等）への出店支援
- ◆みそ・たまりに代わる新たな商工業の振興
- ◆外部への情報発信の強化・口コミの強化
- ◆町内の企業紹介や継業にもつながる子どもが楽しめる職業体験・工場見学の間・機会づくり（武豊版キッズニアづくり）
- ◆中央公園に子どもや女性が食、遊び、スポーツなどで楽しめる場（屋内・屋外）づくり
- ◆試験・研究を重ねながら、新たな農産物や特産品の開発・商品化
- ◆みそ・たまりを使った新たな土産物コンテストの実施

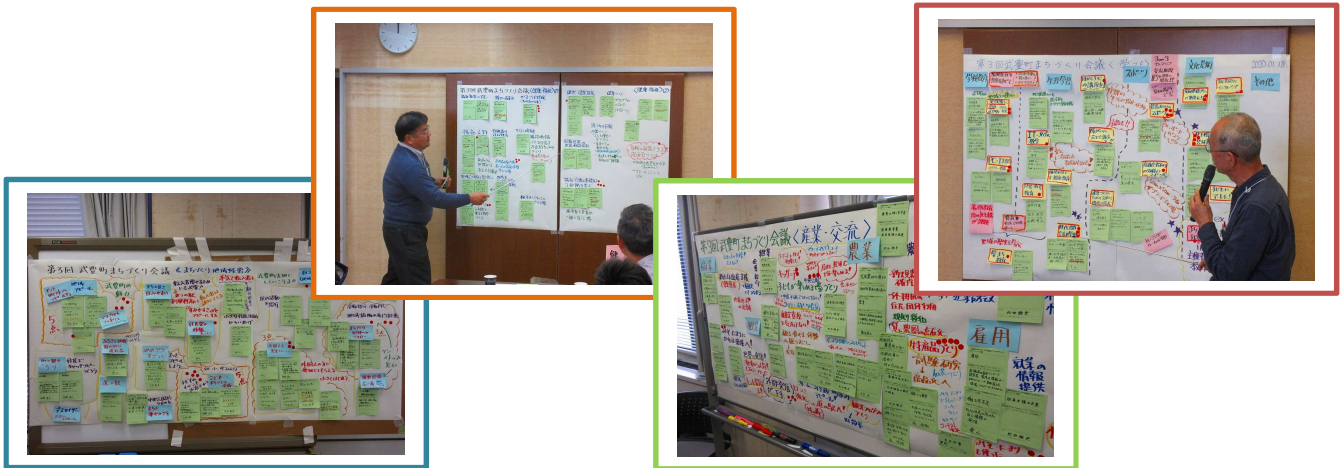
まちづくり・地域経営

- ◆武豊町の魅力をもっと町外へアピール
- ◆SNSを使った住民発の情報発信によるタウンプロモーションの実施
- ◆こどもまちづくり会議の実施
- ◆ワンストップ窓口となる地域協働の専門部署の設置によるまちづくり団体へのフォロー（活動紹介・活動PR）
- ◆外国人を先生にした多文化共生の機会づくり



⑦ 発表

各グループで話し合った分野別の取り組みアイデアを、各グループから発表していただきました。



⑧ まとめ・次回の案内

今回は、これまでの8つの分野でのテーマ別検討をしてきましたが、時間が足りないこともあり、十分な検討ができなかった部分もあったことから、参加者のアンケートの中で関心の高いテーマを選んでいただき、その結果をもとに、参加者の関心の高いテーマを改めて設定し、これまでの議論を踏まえて議論を深めていくような会議にしていきたいことなどを説明し、2時間にわたる第3回まちづくり会議が終了しました。

- ◆次回は、2月15日（土曜日）午前10時から武豊町役場2階第2～4会議室で開催します。
- ◆参加者の関心の高い4つのプロジェクトに分かれ、重点的に取り組むまちづくり戦略等を検討していきます！

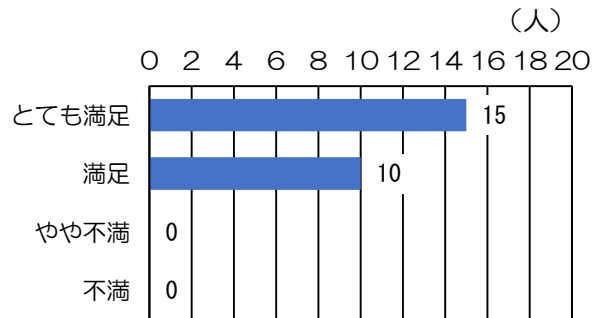
【問い合わせ】 武豊町役場 企画政策課 担当：森田・福谷

TEL 0569-72-1111（内線512） FAX 0569-72-1115

E-mail kikaku@town.taketoyo.lg.jp

Q1 本日のまちづくり会議の満足度は？

まちづくり会議の満足度は「とても満足」が15名、「満足」が10名で、全員が概ね満足する回答になっています。



《満足度を評価した理由》

【とても満足と回答した方の理由】

- ・活発な意見の交換ができたから。
- ・新しいまちづくりに対する意見が多く、楽しい会議だった。もう少し時間がほしいくらいだった。
- ・思っていたより議論をすることができたので。
- ・様々な立場の方の前向きな意見が聞けて参考になった。
- ・様々な意見の中に新しい考え方、面白い発想があり刺激になった。
- ・まちづくりに対する様々な意見が現在の業務に連動していることが多く、常に他課との連携が非常に大事であることを改めて感じることもできたため。
- ・他の方のアイデアを聞くことができて楽しかった。
- ・知らない情報や意見を知ることができた。
- ・今の武豊町の課題の再確認や画期的な意見を聞けて良かった。
- ・色々な自分にはない案が聞けた。
- ・若い人の意見を多く聞くことができた。
- ・自分が思いつかない皆さんの意見が貴重だった。

【満足と回答した方の理由】

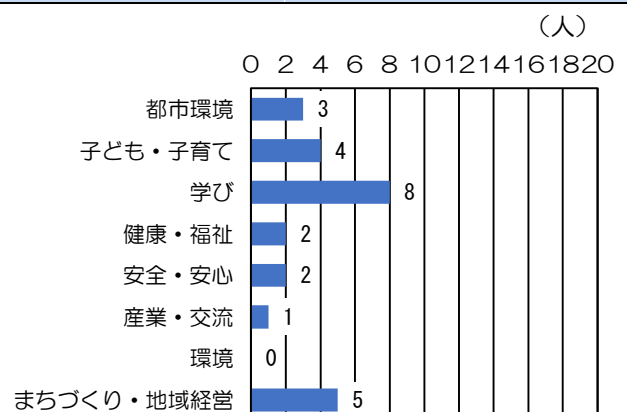
- ・自分にはない発想が聞けて楽しかった。
- ・皆さんと建設的な意見交換ができた。
- ・幅広い意見が聞けたので良いと思う。
- ・幅広い世代の目線で意見が聞けた。
- ・年代の違った方々と話せたことが良かった（内容に関わらず）
- ・時間が少ない。

Q2 本日の会議で「学んだこと」や「印象に残ったこと」は？

- 一人の意見から沢山のアイデアが出てきたことがとても楽しかった。町のことで知らないこともまだまだ沢山あるので、もっと知っていきたいと感じた。
- 新しい発想や考えつかなかった意見が出てきた。行政の本気度が足りないと感じた。
- 基本はいくつかにまとめられそうに思った。時代にあわせたまちづくりの重要性を感じた。
- 様々な視点から話し合いがなされて良かったと感じる。
- 若者や子どものことを真剣に考えていること。持続可能性について強く意識されていること。多文化共生について多くの意見が出ていること。
- 住民の方が日々感じている、思っていることが聞いて新鮮だった。
- 「ゆる仕事付き住宅」は良いアイデアだと思った。
- 住民が受け身ではなく、活躍できるアイデアが多く出て勉強になった。
- 与えられるより、与えることが幸福度を上げることが印象でよかった。
- 短い時間の中で出た全ての意見を書きながら聞き、取りまとめるファシリテーターのすこみを改めて感じる事ができた。今後の会議で生かせればと思う。
- 情報共有、多世代、多思考
- 産業・交流は発展させることが難しいと感じた（みそ、たまりだけではちょっと弱いかなど）。
- 行政の考えと住民目線の考え方が近いところにあることがわかった。
- メモとして書くことでアイデアが沢山出て、沢山議論することができた。
- 情報発信の強化が必要。
- 改めてほどよい田舎で住みやすいこと、困ってはいないが外部への情報発信が下手であることなど、課題は認識できたが解決策は今後考えないと。
- 目玉となる場所が町内に無いと感じた。今後、人の交流が生まれるような場所をどう作っていくかを学ぶことができた。
- 全ての人に関係し、「人事ではない」という思いが深くなった。
- どう魅力を発信していくかが共通の課題だと感じた。
- まちづくりと言っても考え方は十人十色
- 若者向けのスポーツ
- 町をPRするとか、活動をPRするとかの意見に対して全く同感。上手く広報することの大切さを感じた。
- もっと深く掘り下げて意見交換したい。

Q3 次回のまちづくり会議にもっと深めたいテーマを選んで下さい

次回のまちづくり会議で検討したいテーマは、「学び」が8名で最も多くなっています。次いで「まちづくり・地域経営」の5名、「子ども・子育て」の3名、「都市環境」の3名と続いています。



Q4 まちづくり会議や今後のまちづくりへのご提案！

- 今まで出た具体案を進めたい。
- 一つひとつもっと具体的に深める場がほしいと感じた。
- 次回はぜひ、取組み事案についての深掘りをしたい。
- テーマの範囲がとても広いので、もう少し絞って考えられれば良いかもしれない。
- 時間をもう少し増やしてほしい。
- アイデアカードを次回分渡し、準備して来ると時間的に良い。
- 情報共有の仕組みづくり
- コミュニティバスの本数がもっと増えれば

Q5 回答者の属性

【性別】

回答者の性別は「女性」が5名、「男性」が20名となっています。



【年齢】

回答者の年齢は「30歳代」が11名で最も多く、次いで「40歳代」が4名、「50歳代」と「70歳以上」それぞれ3名と続いています。

なお、20歳未満から70歳以上と幅広い年齢の参加になっています。



第3回 武豊町まちづくり会議 各分野のまとめ

《分野 学び》

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票	
学校教育	地域連携教育(SDGs、多文化教育)	学校教育。社会性の育成1	SDGsの視点を入れた取り組みを行う。体験的で行動的な取り組みができるとうい(校外からの支援も必要)		2票	
		学校教育。社会性の育成2	子どもが地域課題の発見と解決策の提案をする場をつくる			
		多文化共生	外国人の方が日本に住むことが増えてきている中で、理解は重要かと思う。			
	PC・IT教育、リテラシー教育	スマート社会へ	PC、e-ラーニング等学校教育が導入できれば…	SNSの使い方(いじめにつながったり)		2票
		情報教育				
	放課後子ども教室を通じて、地域学習、親の連携、世代間交流を!				義務教育後の子どもの支援が課題	
	地域の歴史を学ぶ「愛まち教育」	愛町心を育てる	小さい頃から武豊がよい町であることを分かってもらえるような教育とかイベント(?)			1票
食育(栽培して料理して食べる)						
生涯学習	地域連携を総合的に行う組織	地域、地域の人と学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ地域の人々が参加する ・地域へ学校が出る。式典のよさや課題を見つける ・地域の人材の活用 			
	IT・プログラム教室	IT、プログラミング教室	図書館等で実際に学べる(先生がいる)	既にレゴロボット教室をやっている	1票	
		PCルーム(パソコンが使える場所)	図書館等にいいPCを置いてほしい。1時間で~円で利用。			
	防災・減災教育	防災対策	防災・減災についての知識普及			
偏見をなくす福祉教育	バリアフリー	障害(身体、心)のある方への偏見をなくす教育(教育とか自然にそう思える環境づくり)				

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
	世代間交流 学習	サロン活動	隣近所の高齢者と子ども達 が一緒に遊ぶ		3 票
		核家族における世代間 交流のできる場づくり	親子、そのおばあちゃん世 代も混ぜて一緒に料理教室 (メニューも一緒に考える)		
	目からうろこ の講座	福寿大学他	目からウロコのような新しい知 識の講演を希望	実際の生活に役立つよ うな	
	障がいに応じ た講座	生涯学習のインクルー シブ化	様々な立場に対応した学習 の場を提供する(障がい、年 齢、言語等)	言語も!	
スポー ツ	若者向けのス ポーツ	スポーツの多様性に対 応する	スケートボードが安心してで きる場所を設置する。仲間 や人間関係が作れる	3×3(バスケ)、ボル ダリングなど。交流 施設の駐車場を若 者に開放。または別 の場所で	4 票
	高齢者向けの 多様なスポー ツ場	スポーツ	グランドゴルフ等の普及	50m×50mのグラウ ンドゴルフ場2面	1 票
	健康づくりの ためのスポー ツ機会の拡大	子どもの体力低下	スポーツする機会を増やし たい	トレーニングルーム の活用	
		スポーツの可能性を広 げる	様々なスポーツに触れられ るようなイベント		
メタボ		継続的にスポーツを行う			
文化芸 術	文化創造プラ ンの重視を!	文化創造プランの独立 化			
	文化芸術にイン クルーシブ	文化芸術の多様性を進 める	文化施設での企画にインク ルーシブの視点を入れる(障 害、言語、性…)		2 票
	非日常的な 芸術機会	文化振興	伝統芸能 etc…非日常的な ものが近くで見られたら…。		4 票
	芸術に触れる 機会の拡大	芸術への機会(興味作り)	絵を見たり音楽を聞いたり、 感性や可能性を広げるイベ ントを!		
	子どもにアート を!	子どももアートに触れる 機会を!	年齢が固まってきてしまっ ているので、子ども展覧会な どの開催を!		
その他	まちづくり子ど も会議			主権者教育へ(例え ば、提案(スケボー ができるところがな い)⇒実現⇒管理 責任(管理運営ま で)	5 票

《分野 健康・福祉》

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票	
高齢者 福祉	福祉施設の 不足	社会資源の充実				
		介護施設の確保(特に 特養)	特養入居者への待機解消			
	福祉人材	介護士の増員		働き方の見直しやイメージ払 拭、外国人雇用	高齢者の働き場、 若い人の福祉体 験、学びの場	3 票
		ヘルパー不足が問題化 する		ハードル(人材)を低くした独 自制度を作る		1 票
		福祉に関する人材の確 保		専門職だけでなく、人材の裾 野を広げる取組みときっかけ づくりを		
	介助者のスト レス解消	介助者負担の軽減		相談窓口等の活用や気軽に 相談できる環境整備		
	地域での見守 り、支え合い	高齢者世帯の増加		地域での声の掛け合い、世 代を越えた関係づくり	町民が関わる、支え る仕組み	
		独居老人が安心して暮 らせるまち		地域で見守り、安否の確認		
	地域をバック アップする体 制	身近な地域において問 題解決ができる仕組み づくりを進める		行政的なバックアップ(地域 で支え切れない専門的な事 柄について)、コミュニティ ソーシャルワーカー(社会福祉 士)の配置		
		地域活動を活発化		コミュニティソーシャルワー カー等を配置し、町民全体の 活動が促進されるように		
	顔の見える関 係づくり	支え手の絶対的不足		区ごとに夕食会(定期)を行 い、支え合える関係づくりを する	公民館で集まる機 会づくり	2 票
	やること付き 住宅(高齢者 の仕事)	高齢者の活躍の場を考 える		要介護になったら施設では なく「お仕事付き高齢者住 宅」などへの取組み		3 票
	サロンの認知 度向上	憩いのサロンなどの認 知向上		近所や知り合いと一緒に参 加	男性高齢者の参加 を促す、外出するき っかけづくり	
男性高齢者 のグループづ くり	高齢者の男性が孤立し てしまう		現役の時の仕事や得意とす ることを把握してまちの達人 冊子を作り、活用する			
親子がリフレ ッシュできる 場	子育てに不安を持つ親 が多い		リフレッシュしながら子育てを 教わる場を作る。元気な高 齢者を活用した子育て昼食 会(ランチ広場)			
障がい 者福祉	障がい者雇用	障がい者雇用の充実	ハローワークなどとのジョイ ント	企業、地域と連携		
健康づ くり	健診・健康相 談	生活習慣病	子ども、若い世代から健診や 相談を受ける習慣のための システムづくり		1 票	

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
		医療費の増大	健康づくり(予防)、正しい医療の受け方などについての情報を周知する		
		直接的メリットに目が行きすぎ	例えば〇〇歳まで医療費無償などではなく健康診断の充実など		
	健康づくり	健康づくりは一人では続かない	各種健康プログラム(昼食)、健康カルテも絡めた拠点(施設+ゾーン)を作る。仲間づくりもできるような	健康プログラムの拠点と仲間づくり	
	子育て中の母親の健康づくり			子どもが優先になってしまう。産後ケアの費用が高い(補助制度もあるが)、産婦人科への周知が課題	
医療	医療サービス・機関	子どもの医療ケア、発達支援などのサービス不足	町内外のサービス視点を把握して整理する		
		医療機関の所在地のバランス	巡回バスなど(町外へも)の交通手段の検討		
		高校生への医療費の無料化	町の予算化		
福祉の体制	福祉・介護の基礎的な知識を学ぶ	介護に対する不安	予防の取組みとその前の基礎知識を学ぶ	高齢者と若者が一緒に学ぶ	4票
		福祉に関する基礎的な理解を町全体で深める	難しい		
		医療と介護の充実と福祉を学ぶ	地域の連携、日本福祉大学とのジョイント(楽しく学ぶ)		
	困難世帯の把握・相談体制	世帯が抱える複合・重層的な課題について解決できる仕組みづくり	包括的な相談支援体制を検討する		
		SOSを発信できない生活困窮者がいる	まずは把握するために、定期訪問		
気軽に相談できる場・雰囲気づくり			地域の人が気にかけて声をかける。まずはここへとPRする。	1票	

《分野 産業・交流》

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取り組みアイデア	備考	投票
商業	新たな出店(飲食店)への支援	大型店の出店に伴う店舗の減少	武豊町内でお店を出店しようと思える支援策の策定	地産地消の店舗の支援、観光にもつなげる	1票
		地産地消の発展	地産地消を売りにする唯一無二のラーメン屋など		
	みそ・たまりに代わる商業の振興	目玉となる商業が地味	新しい商業等の参入	みそ・たまりを世界へ発信(グルテンフリーで海外では人気。健康などの効能もある)	2票
	駅前のにぎわいづくり	駅周辺の活気が...	武豊、富貴駅周辺のにぎわいアップ。明るさ、イベント、お店で		
観光	もっと情報発信を!	商業、観光資源	外部への発信が行き届いていない。日祝に店を開くことができるか?	武豊は外部への情報発信が下手のため、口コミの強化を!	3票
	観光魅力づくり	観光資源が少ない	観る、食べる、体験することができる魅力あるものを掘り起こす。または作りあげる	観る、食べる、体験の魅力掘り起こして情報発信!	
		観光資源がない	写真映えするスポットを作る	新しいものを作り、インスタ映えスポットにする。プロジェクションマッピングを行う。	
		「観光地」化とは?	もともと観光地ではない。ふらふら遊びや歩きに来てくれる何かが必要	海、山、みそ蔵、町並みをアピールしたり、味の蔵を道の駅にリニューアルしたりしながら、1日や半日を散策しながら楽しめる観光プログラムを作る。(ターゲットを絞って、町民、子ども、女性が半日楽しめるように)	
		観光名所の魅力が...	武豊町に行ってみたく思えるような名所の魅力アップ。みそ蔵等の町並みをアピール		
		味の蔵をもっと人が集まる施設にしたい!	道の駅への昇格		
	子どもが楽しめる場づくり	職業体験	武豊キッズニアや工場見学ツアー(大企業)	企業紹介や継業にもつながる職業体験ができるキッズニアを作る	2票
商業施設の充実		レジャー施設に温水プールを併設	中央公園に屋内、屋外で子どもや女性が楽しめる場づくり(食、遊び、スポーツなどで)。中途半端なものではいけない。	3票	
スポーツ合宿・練習の場づくり			宿泊する施設が無いのが問題 ビーチボールバレー、ランニング、クロスカントリ、自転車、バス		

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取り組みアイデア	備考	投票
				ケなど町民が取り組むスポーツを中心に。マウンテンバイクのコースを作る	
農業	新規就農者の確保	荒廃農地の増加	新規就農者の掘り起こし	農地の区画を広くして農業をやりやすくする。農地取得の規制を緩和する	
		農業の担い手不足	貸農園事業、農業体験の推進		
	耕作放棄地の有効活用	農業	休耕地(休耕地)の利用。住民や団体等に利用してもらう方法を考える	身近な場所に貸農園を点在化する	
	災害対策	発災対策			
	特産品づくり	特徴的な農産物がない	休耕地等を活用して何か作れないか	半田農業高校とのコラボで検討するなど、試験・研究を重ねながら商品化を考える。	5票
		これといった農産物がない	武豊独自の農作物の開発		
儲かる農業		利益を上げられる作物、加工品をとにかく1つから			
儲けるシニア		農作業、作物、作品を、体力を使わずに売れるものを考える(例えば仏花)			
みそ・たまりを使った名産土産物コンテストの実施				みそ・たまりを使ったドレッシング、クッキー、せんべいなどの開発を、コンテストを行いながら実施	2票
工業	企業誘致	産業発展	企業誘致		
	企業の地域貢献に向けた情報ネットワークづくり	工業	企業の地域貢献の情報を共有する場、どこかで情報をまとめられないか		
雇用	就業情報の提供	雇用	高齢者の雇用について、就労者、場所の情報がわかりにくい。商工会やシルバー人材センターでまとめられないか。	商業、工業、観光、雇用の情報ネットワークづくり	
		働き手不足	町内住民に向けた求人情報の発信		
		就業支援の充実			
交流	ネットワークづくり	交流	町内に外国人(籍)の方が増えているが、情報が行き届いていない		
		交流	姉妹都市(文化、経済的、防災での交流)		

《分野 まちづくり・地域経営》

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
タウン プロモ ーション 町の魅 力アピ ール	もっと町外へ 地域のアピ ール	しょう油のまち	みそ・たまりの料理コンテスト (子どもも交えて)	マルちゃんとコラボ して、みそたろうの 蒲鉾など	5票
		タウンプロモーション・ 地域アピール	みそ・たまりサミットなどのイ ベント		
		タウンプロモーション	みそたろうの活用		
	住民でキャッ チコピーを作 ろう!	町の魅力	まずは町民みんなが愛着を 持ってウリを作る(例えば、み そたろう)。それで、町民意 識が一つになれば統一感の あるまちづくりが	デスカイザー(段ボ ールコスチューム)	
		町の魅力	町の魅力が上がるとどんな 良いことがあるのかを町民に 伝える。キャッチコピーを作 る		
	ふるさと納税 の魅力的な返 礼品	ふるさと納税で魅力的 な返礼品の開発	プロジェクトで話し合い。商 工会に相談。町内企業へ相 談	プロジェクトを作ろう	
	道の駅へ	情報発信(魅力)を高め る	まちの駅を道の駅へ		
	まちに華やか さを	公園(自然公園、港公 園など)	公園の施設を充実させる	中央公園的なもの を	
	ゆめプラすご い	ゆめたろうプラザの活 用(幼いうちから芸術と 触れ合える)	子ども達も身近で行きやす く、芸術を体感してもらえる	もっとアピールしよう	
	住みよさをア ピールする	武豊の住みよさアピ ール不足	住民がインフルエンサーに なる	4つの駅があり、利 便性が高い。転入 者を増やすためにも アピールが必要(転 入者は調べてくる)	1票
タウンプロモーション・ 地域アピール		武豊の利便性のアピール (交通など)			
住民発の情 報を流したい	若い世代が魅力に感じ るまち	SNSを上手くタウンプロモ ーションに活用する			
本気で転入 者確保を	本気で転入者を受け入 れる活動	ホームページでPR、遊休地 を使ってみんなでお米を作り ました。空き家対策	魅力発見につなが る		
子ども イベン ト	こどもまちづ り会議		子ども同士の交流イベント (作った物を実際に売ったり)	幼稚園、小学生、中 学生、みんなで、子 どものイベント(お店 とか)	5票
		地域と若者との関わり	保育園、小学生の頃からイ ベント、高齢者施設と関わる 機会を持つ。(近所の人とも より関わりやすくなるかもしれ ない)		
		自分の住んでいる町に 興味を持ってもらう	子どもまちづくり会議「どん なまちにしたいか？」		
地域活 動	活動の紹介	小さな住民活動の広い あげができていない	企業、店舗の社会貢献活動 に対する表彰制度	小さな住民活動の 広いあげ	

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
		区への未加入	区でやっている行事や取組みを町が広報などで取り上げる		
	行政がやらない 勇気を持つ	道路にごみが落ちている	楽しくごみを拾う活動(集団)を作る		
		住民自治の意識が低い	自分の家の前は自分で管理する(ごみ拾い、草取り、役場への連絡・通報)		
	学校を核とした地域活動	地域コミュニティの核を考える	学校を中心にしたコミュニティを意識する必要がある		
	活動紹介・活動PR	協働のまちづくりへの補助金の継続を続ける	活動のPRをする		
		地域との協働を進める	地域で活動する団体の活動紹介をする場、機会を設ける(新しい人達にも入ってもらおう)		
	まちづくり団体へのフォロー	まちづくり団体へのフォローが不十分	協働の取組みに対する支援を行う(資金、情報発信、人)		
	地域協働の専門部署の設置	地域との協働を進める	行政に協働推進を進める部署を作る	ワンストップ窓口	3票
	複数団体、広い層	1つの行事に複数団体の関わり	行政、町民、団体、学校と複数関わることで盛り上がるのでは	半田チャンネルナイトのような	
多文化共生	外国人を先生に	外国人にもまちづくりに参加してもらう	町のイベントに参加してもらうために、チラシを外国語に対応する	外国人の方に参加してもらう。 小さくはじめる。	3票
			お互いに知る、接する機会を増やす。地域交流の場を職場、保育園、学校を通して作る		
		多文化共生(周りを知る)	他県民移住者との交流で、それぞれの文化を知る		
		多文化共生(世界を知る)	在住外国人との交流で、それぞれの文化を知る		
		異文化交流	料理教室、子どもの遊び・ゲーム、言語を学ぶ		
		多文化	外国の方と故郷のクッキング教室(歴史など色々な話も聞けそう)		